

平成18年度 事務事業評価表

15056
一般会計

事務事業名	ゆとりの森整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境部	水と緑課	公園整備担当	田野口 勝彦

1.位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちづくり編・次世代へ引き継げるまちをつくる		
	個別目標	自然と調和した快適な都市空間をつくる		
	達成された姿	身近にやすらぎを感じることのできる空間がある		
根拠法令	名 称	引地川水系自然公園基本計画		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了(予定)年度	事業期間	
	平成15年度	平成24年度	10年	

2.事務事業の概要

対 象	各年度ごとの具体的な内容	【 】内は前年度数値
市民	17年度 設計、整備を行いました。	
目 的	<p>＜事業内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地借受事務 3.0ha ・多目的グラウンド及びトイレ棟実施設計 ・第1期整備工事着手 <p>平成17年度は1,285本の樹木を伐採しました。</p>	
手段、手法		
・ゆとりの森は綾瀬市が計画している公園と一体的な公園であるため、綾瀬市と調整しながら整備します。		
成 果(効果・予測)	<p>18年度</p> <p>ゆとりの森(面積:17.9ha)を、平成17年度～平成24年度で整備します。平成18年度は設計・整備を行いました。</p> <p>＜事業内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備工事 芝生グラウンド(1.2ha) 周辺園地等 (1.4ha) トイレ <p>＜決算額の内訳＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの森整備工事 278,335千円 ・ゆとりの森整備委託 6,353千円 ・その他 2,030千円 	
スポーツ施設及びレクリエーション施設を整備することにより、幅広い年齢層での活用が期待できます。	<p>19年度</p> <p>設計・整備を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地借受事務 ・設計委託 ・整備工事 	
課 題		
本事業は10年間と長期にわたるため、市民ニーズの変化が予想されますので、途中で、計画の見直しが必要です。 国有地の借受等、関係機関との調整が必要です。		

		17年度（決算額）	18年度（決算額）	19年度（予算額）
総事業費	事業費（千円）	31,718	286,718	5,334
	人件費（千円）	8,046	19,523	18,636
	総事業費（千円）	39,764	306,241	23,970

3 活動内容						
活動指標 1	名称	整備面積			単位	h a
	内容説明	ゆとりの森整備完了面積				
	指標値		17年度	18年度（当該年度）	19年度	
		予定	0	2.6	0	
	実績	0	2.6	- - -		
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		17年度	18年度（当該年度）	19年度	
		予定				
	実績			- - -		
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		17年度	18年度（当該年度）	19年度	
		予定				
	実績			- - -		
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		17年度	18年度（当該年度）	19年度	
		予定				
	実績			- - -		

4 市民との協働						
事業年度ごとの目標領域及び実績		18年度			19年度	
	目標領域	(e) : 行政の独自領域			(e) : 行政の独自領域	
	実績	-			- - -	
(a) ~ (e) の 5 段階に分類し、 目標領域と実績を記入しています。	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	
	市民活動の独自領域	市民主導型	市民・行政対等型	行政主導型	行政の独自領域	

5 評価結果				
行政関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要があるか。
	16年度	17年度	18年度	A：市が関与する必要性が高い。 用地の確保、整備に関する事務のため、市が行わなければなりません。
	-	A	A	
有効性 総合計画への貢献度	評価結果			総合計画の達成された姿を実現するために有効に作用しているか。
	16年度	17年度	18年度	A：目標達成に向けて大きな成果がある。 当初の予定どおり、2.6haを整備することができたので、成果があったと判断します。
	-	A	A	
有効性 市民ニーズ	評価結果			市民ニーズはあるか。
	16年度	17年度	18年度	A：大きな市民ニーズがある。 人口密集都市という本市の特徴上、屋外でのスポーツやレクリエーションの場が不足しており、大きなニーズがあります。
	-	A	A	
経済効率性 事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	16年度	17年度	18年度	A：経費は適正な水準である。 使用材料に再生材や同品質でより安価なものを使用しました。
	-	A	A	
経済効率性 受益者負担	評価結果			受益者負担は適正か。
	16年度	17年度	18年度	Z：負担を求める事務事業ではない。 広く開放された施設であり、受益者を特定できないことから、受益者負担を求めることは妥当ではありません。
	-	Z	Z	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	16年度	17年度	18年度	A：社会的配慮を十分に行っている。 ゆとりの森基本計画及び実施計画の作成時に市民アンケートを行いました。また、工事の開始を地元に戻覧し、工事の進捗状況をホームページで報告しました。
	-	A	A	

6 今後の方針		
今後の方針	16年度	-
	17年度	：現状のまま継続
	18年度	：現状のまま継続
	現状における手法が適切であると考えているため、現状のまま継続していきます。	